

ECLIPSE

取付説明書

3.3 T F T 内蔵 MP3 / CD / MS A i メインユニット

E5503CDi

取り付けおよび接続を行う前に、必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。本機の取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店での取り付けをお薦めします。「取扱説明書」、「取付説明書」をお読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

販売店様へ

取り付け、接続作業が完了しましたら、この取付説明書をお客様へお渡しください。

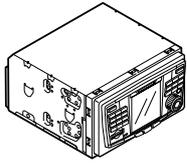
もくじ

取り付ける前に	構成部品	2
	安全に正しくお使いいただくために	3
	取り付け概要図	5
接続について	接続端子の名称と役目	6
	車速パルス用信号・パーキングブレーキコードの取り付け	9
	システム接続例	11
取り付けについて	GPSアンテナの取り付け	12
	メインユニットの取り付け	15

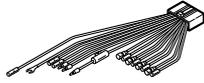
構成部品

作業前に構成部品が揃っているか確認してください。

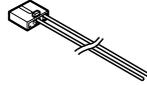
本体関係



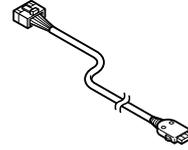
① メインユニット
× 1



② 接続コード
(16Pキボシ) × 1



③ 接続コード
(5P) × 1



④ 携帯電話接続コード
(PDC用) × 1



⑤ 六角ボルト
(M5 × 8) × 8

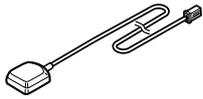


⑥ 皿ねじ
(M5 × 8) × 8



⑦ ショートコネクタ
× 2

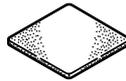
GPS アンテナ関係



⑧ GPSアンテナ
× 1



⑨ 防水クッション
× 1



⑩ アースプレート
× 1



⑪ ボディ保護用シート
× 1

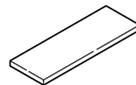
配線用部品



⑫ クランプ(金属製)
× 6



⑬ バンドクランプ(長)
× 4



⑭ ハーネス固定テープ
× 1

安全に正しくお使いいただくために

この取付説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本機取り付けのために必ず守っていただきたいことや、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。



アドバイス

本機の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと
知っておくと便利なこと、知っておいていただきたいこと



警告

本機はDC12V \ominus アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車での使用はしない。火災の原因となります。

本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けしない。交通事故や怪我の原因となります。

車体に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行う。火災の原因となります。

車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しない。これらを使用しますと、制動不能や発火、事故の原因となります。

取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス \ominus 端子をはずす。プラス \oplus とマイナス \ominus 経路のショートによる感電や怪我の原因となります。

コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくと事故の原因となり危険です。

本機を分解したり、改造しない。事故、火災、感電の原因となります。

電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取るとは絶対に止める。電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。

音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用する。規定容量を越えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。

万一、異物が入った、水がかかった、煙りが出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機取り付けと配線をしない。エアバッグ動作を妨げる場所に取付・配線すると交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しないため、事故の原因となります。

視界や運転の妨げになる場所へは取り付けないでください。交通事故の原因となります。

ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用する。破片などが目に入ったりして怪我や失明の原因となります。

接続したコードや使用しないコードの先端など、被覆がない部分は絶縁性テープ等で絶縁する。ショートにより火災、感電の原因となります。

注意

本機の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。

必ず付属の部品を指定通り使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れることがあり危険です。

雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気、埃、油煙の多いところへの取り付けは避けてください。本機に水や湿気、埃、油煙が混入しますと、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

しっかりと固定できないところや振動の多いところなどへの取り付けは避けてください。外れて運転の妨げとなり交通事故や怪我の原因となることがあります。

直射日光やヒーターの熱風が直接当たるところなどへ取り付けないでください。本機の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

本機の通風孔や放熱板、ファンをふさがないでください。通風孔や放熱板、ファンをふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

取付説明書で指定された通りに接続してください。正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。

エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤動作する原因となることがあります。

車体のねじ部分、シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。

コードが金属部に触れないように配線してください。金属部に接触しコードが破損して火災、感電の原因となることがあります。

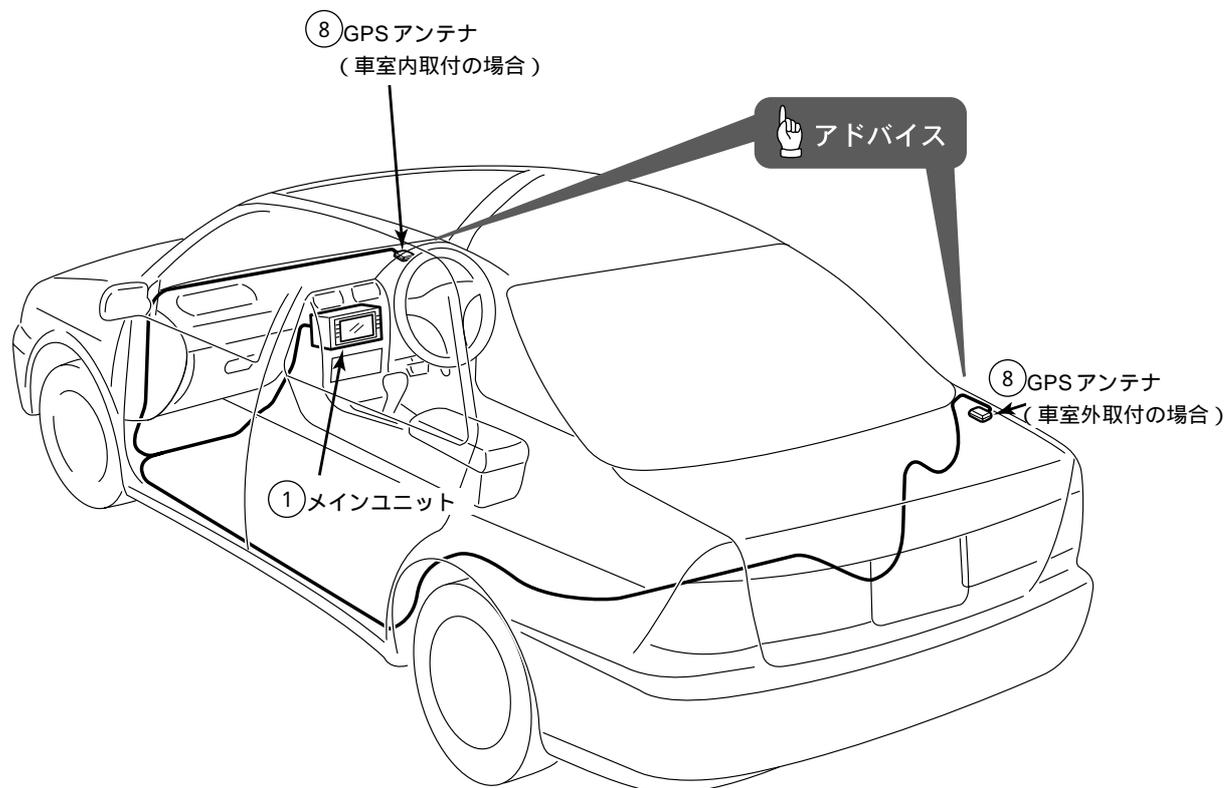
コード類の配線は、高温部を避けて行ってください。コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし、火災、感電の原因となることがあります。

本機の取り付け場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。取り外し、取り付けには専門技術が必要です。

本機を車載用として以外は使用しないでください。感電や怪我の原因となることがあります。

フィルムTVアンテナ及びケーブル・コードをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等の揮発性のもので拭かないでください。表面処理を傷める原因となります。

取り付け概要図



アドバイス

車室内にGPSアンテナを取り付けた場合、取り付け位置やボディ形状によっては車室外に取り付けた場合に比べ、GPSの測位率が低下し、現在地位置ズレを生じやすくなります。この場合はGPSアンテナは車室外に取り付けてください。

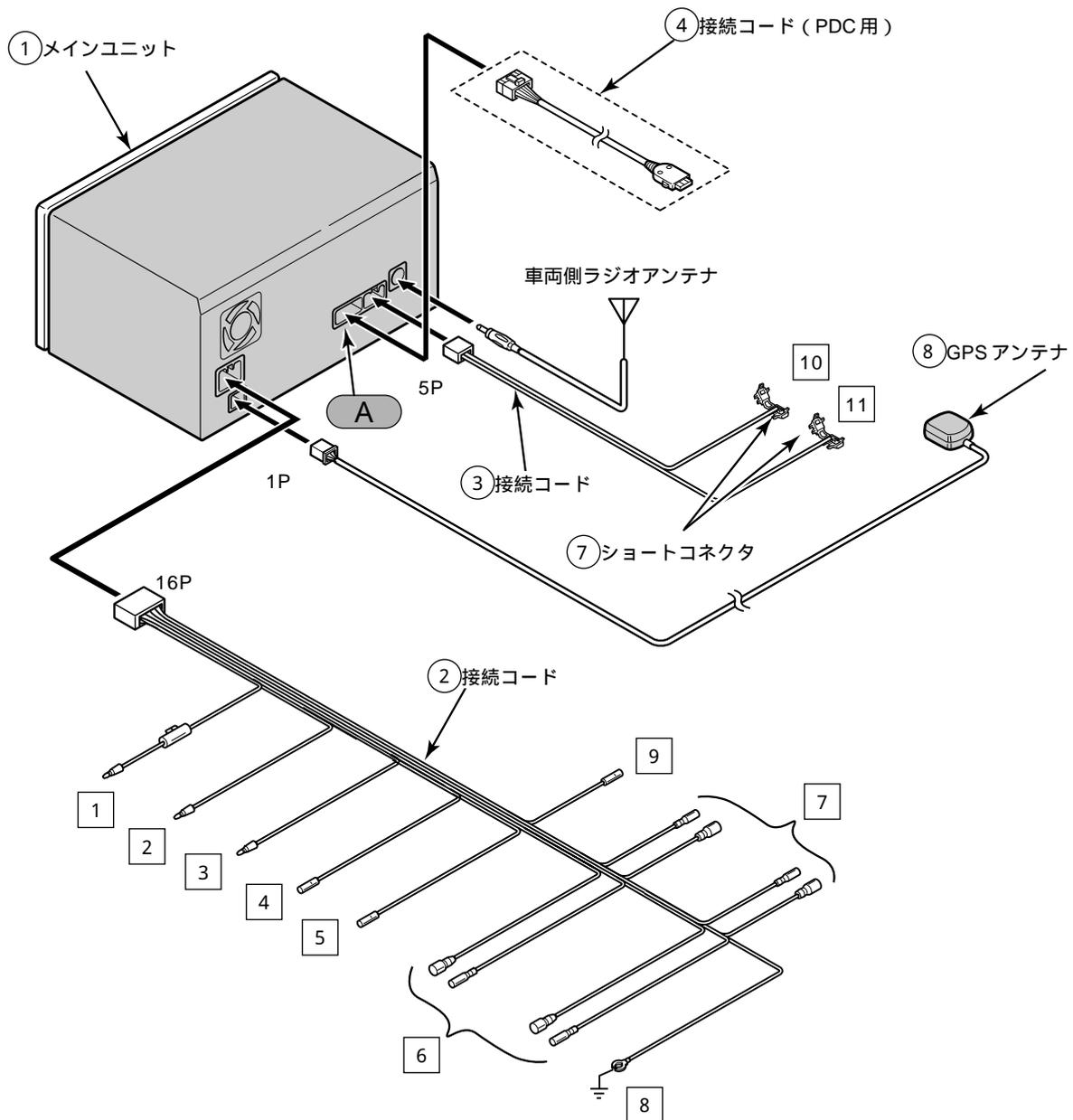
フロント、リアウィンドガラスの材質によりGPS衛星受信感度が非常に低下する場合があります。この場合はGPSアンテナは車室外に取り付けてください。

接続端子の名称と役目

警告

電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。

コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。



アドバイス

接続コード②③の線色および接続先は7ページを参照ください。

携帯電話接続端子 **A** は、通信機能を使用するために接続します。

同梱の携帯電話接続コード④ (PDC用) または別売の【KW-1382】(cdma-One用) を接続してください。接続しない場合は、通信機能を使用できませんので、必ず接続してください。

接続コード②の線色および接続先

1 バッテリー電源端子（黄色）

車のキーに関係なく常時電源が加わっているところに接続します。

2 ACC電源端子（赤色）

車のキーをLOCKかOFFにすると電源供給が切れ、ACCにすると電源が加わる場所に接続します。

3 照明用電源端子（橙 / 白色）

車のライトスイッチをONにしたときに、電源が加わる場所に接続します。

4 オートアンテナ用電源端子（青色）

アンテナがガラスアンテナの場合、車側のアンテナアンプ電源端子に接続します。

アンテナがオートアンテナの場合、車側のオートアンテナのコントロール端子に接続します。

5 システムコントロール電源端子（青 / 白色）

本体の電源スイッチON/OFFに連動して電源を供給する端子です。

トヨタ車のモーターアンテナには4 オートアンテナ用電源端子と併用してお使いください。

6 フロントスピーカ出力端子

フロントスピーカへ接続します。 白色：左+ 白 / 黒色：左-
灰色：右+ 灰 / 黒色：右-

7 リアスピーカ出力端子

リアスピーカへ接続します。 緑色：左+ 緑 / 黒色：左-
紫色：右+ 紫 / 黒色：右-

8 アースコード（黒色）

車のボディのアースが確実に取れる所へ取り付けます。

9 ミュート信号端子（桃色）

接続しません。（ショートしないようテープを巻いて絶縁処理をしてください。）

接続コード③の接続先

10 車速パルス用信号端子（紫 / 白色）

車の車速パルス用信号端子へ接続します。（接続要領  9ページ）

11 パーキングブレーキ信号端子（赤 / 白色）

車のパーキングブレーキ端子へ接続します。（接続要領  10ページ）

本機は、ACCポジションの無い車には取り付けできません。

仮にACC電源端子をバックアップ電源に接続された場合、バッテリー上がりの原因となります。

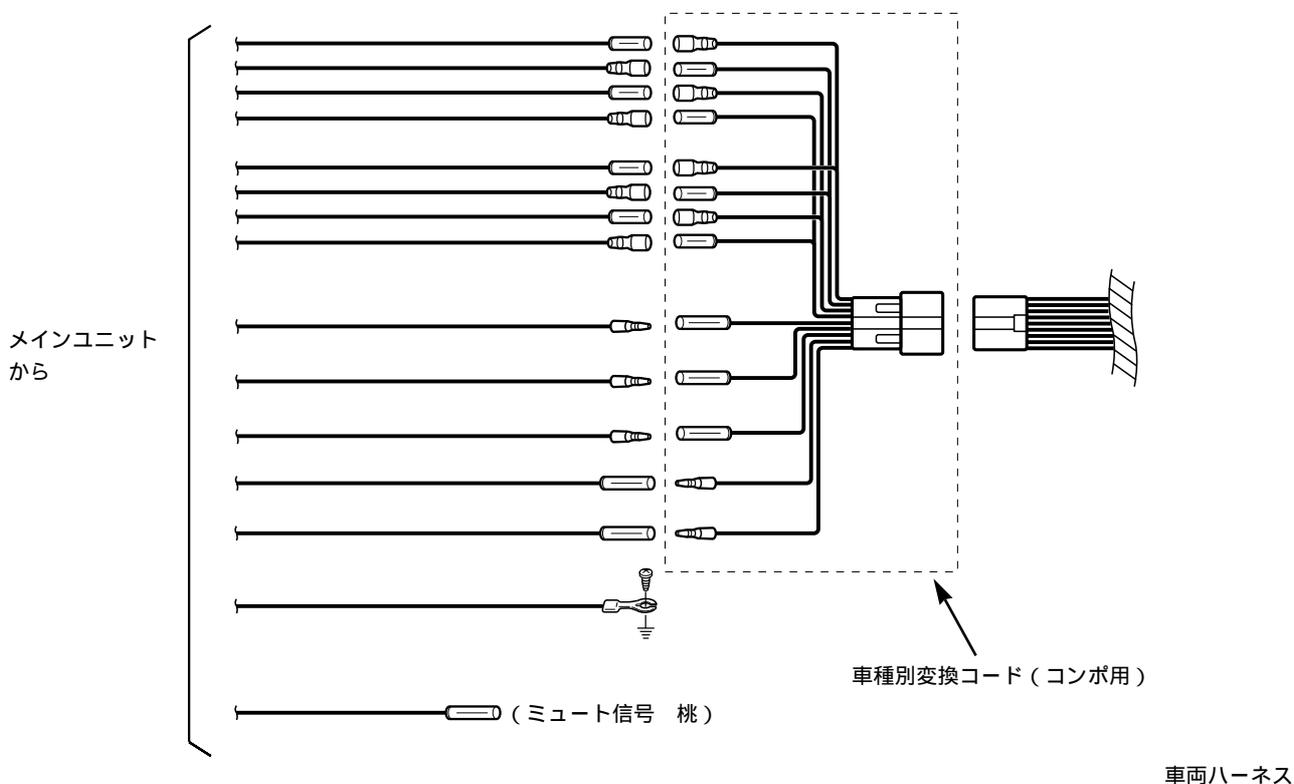
- 車側と接続する方法 -

👉 アドバイス

それぞれの電源が取り出せるよう車種別変換コード（コンボ用）をお買い求めください。
（詳しくは販売店にご相談ください。）

- 1 車両ハーネスと車種別変換コード（コンボ用）と接続する。
- 2 組み合わせる機器の接続コード及びメインユニットからの接続コードを車種別変換コード（コンボ用）と接続する。

- 車種別変換コード使用例 -



車速パルス用信号・パーキングブレーキ用コード取り付け

取り付け上のご注意

警告

車速パルス用信号・車のパーキングブレーキ信号を充分確認してから接続してください。コードを間違えると車両事故や故障の原因となります。

車速パルス用信号コードのラベルの中には保護回路が入っていますので、コードを切断したり保護回路をはずしたりしないでください。事故の原因となります。

コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。

アドバイス

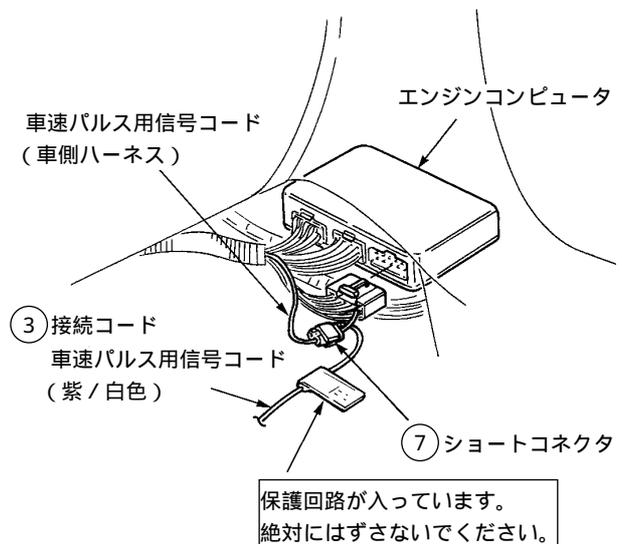
車速パルス用信号コード・パーキング用ブレーキ信号コードの取出し位置は、車種やグレードにより異なります。詳しくは車のお買い上げ店や最寄りのディーラーにお問い合わせください。
(作業工賃はお客様にご負担いただく場合があります。)

- 車速パルス用信号コードの接続 (例) -

アドバイス

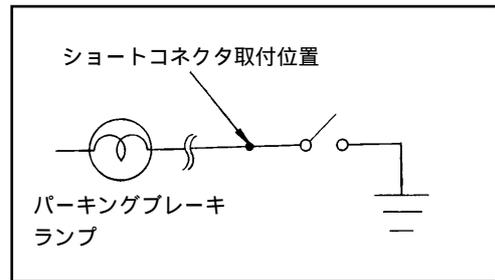
車速パルスは必ず接続してください。接続しないと測位精度が非常に低下します。

- 1 接続コード③の車速パルス用信号コード(紫/白色)を車の車速パルス用信号コードへショートコネクタを使用して接続する。
- 2 車速パルス用信号コードをメインユニット取付位置まで配線する。

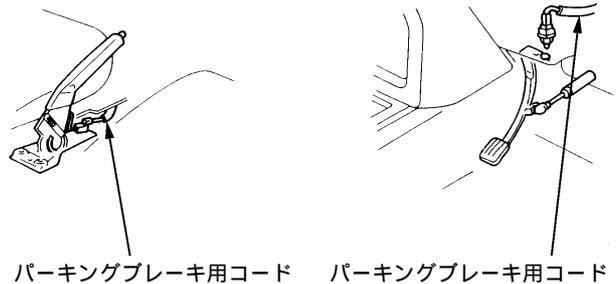


- パーキングブレーキ用コードの接続 (例) -

- 1 接続コード③のパーキングブレーキ用コード(赤/白色)を車のパーキングブレーキ用コードへショートコネクタを使用して接続する。
- 2 パーキングブレーキ用コードをメインユニット取付位置まで配線する。

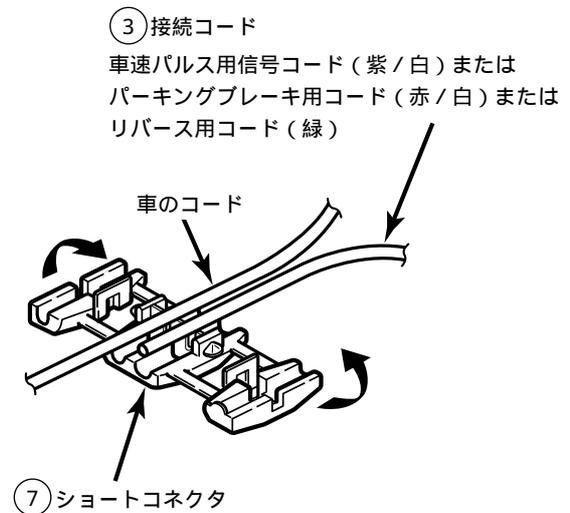


例1) パーキングブレーキがハンドブレーキの場合 例2) パーキングブレーキがフットブレーキの場合

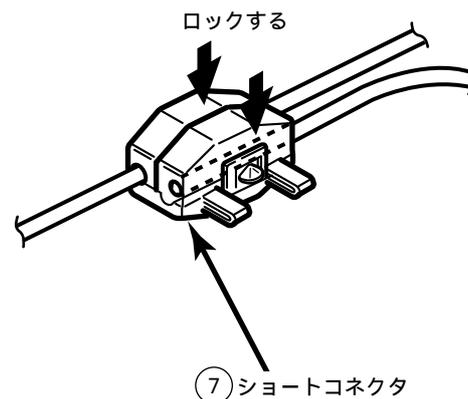


- ショートコネクタ使用方法 -

- 1 接続コード③【車速パルス用コード紫/白】、【パーキングブレーキ用コード赤/白】、【リバース用コード緑】と車のコードをショートコネクタに挿入する。
- 2 ショートコネクタのターミナル(金属部)をプライヤー等で押し込む。



- 3 ショートコネクタのふたをかぶせプライヤやペンチ等でロックがかかるまではさみ込む。



システム接続例

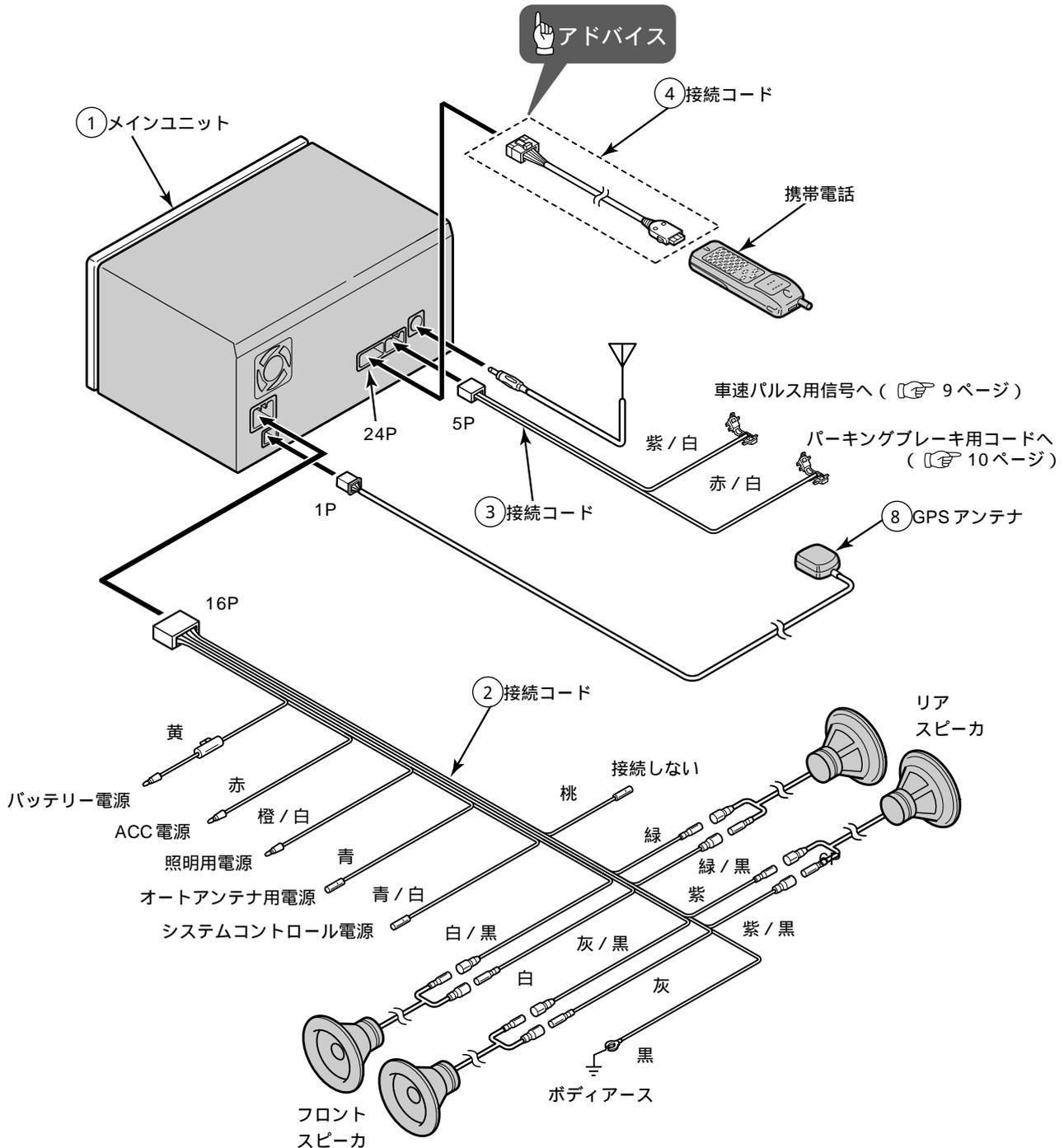
警告

電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。

コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。

アドバイス

メインユニットに接続する前に各ユニットの取付及び配線を行ってください。



アドバイス

接続コード④は、PDC用です。cdma-One でのご使用の場合は、別売の携帯電話接続コード【KW-1382】(cdma-One用)をご使用ください。

GPSアンテナの取り付け

取り付け上のご注意



警告

コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。

視界や運転の妨げになる場所へは取り付けないでください。交通事故の原因になります。

👉 アドバイス

車室内にGPSアンテナを取り付けた場合、取り付け位置やボディ形状によっては車室外に取り付けた場合に比べ、GPSの測位率が低下し、現在地位置ズレを生じやすくなります。この場合はGPSアンテナは車室外に取り付けてください。

フロント、リアウィンドガラスの材質によりGPS衛星受信感度が非常に低下する場合があります。この場合はGPSアンテナは車室外に取り付けてください。

車室内に取り付ける場合は必ずアースプレートを取り付けてください。

貼り付け面の表面が本皮、木製パネル、布ばり等樹脂製でない場合は、表面仕上げを傷める場合がありますので貼り付けないでください。

取付位置表面の汚れ、水分、油分などをよく拭きとってから取り付けてください。

GPSアンテナを塗装しないでください。アンテナの受信感度が落ちる場合があります。

テレビラジオ放送の音声や映像に妨害を与えることがありますので、GPSアンテナコードは、テレビ、ラジオアンテナやテレビ、ラジオアンテナコードからできるだけ離して取り付けてください。

天空の遮へい物（フロントピラー、ルーフパネル）を避けた位置に取り付けてください。

GPSアンテナは車のルーフのように、なるべく電波が遮られない場所に水平に取り付けてください。遮られた方向の衛星の電波は、受信できません。

車室外に取り付けた場合、盗難やイタズラ防止のため、車から長時間はなれる際にはアンテナ本体をはずしてください。

アンテナを取り外す場合、アンテナ本体を持って取り外してください。コードを持って引っ張ると断線等により故障の原因となることがあります。

車室外に取り付けた場合、洗車の際にはアンテナ本体をはずしてください。（やむを得ずアンテナ本体を取り付けた状態で洗車をする場合は、車室内への水の侵入を防ぐために配線部への直接放水はさけてください。）

GPSアンテナに付いている磁石は大変強力です。アンテナを取り付けるときは以下の点に注意してください。

- ・地面や砂ぼこりの多い場所には置かないでください。砂鉄が付着して取り付ける際にボディに傷つける恐れがあります。
- ・時計や磁気カード等に近付けないでください。時計や磁気カードが故障したり使用できなくなる恐れがあります。

- 車室内に取り付ける場合（例） -

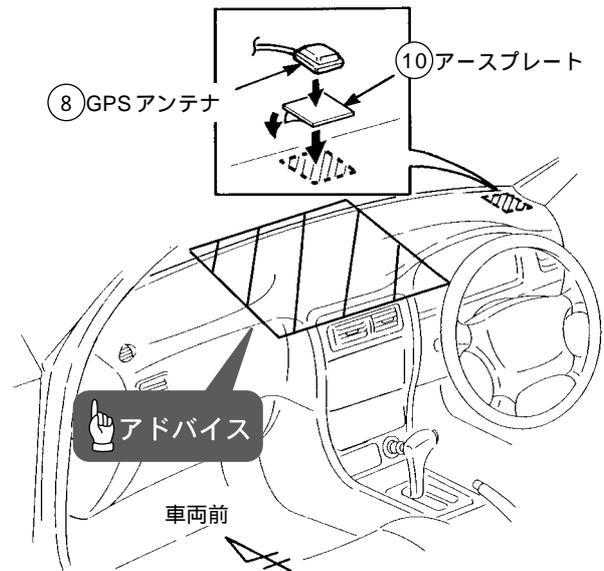
- 1 ダッシュボード上の平らで天空が広く見渡せる場所に取付位置を決める。

アドバイス

メインユニットを中心に半径 50cm 以上離してください。
GPS の測位率が低下する場合があります。

- 2 ダッシュボード上にアースプレートを取り付ける。

- 3 アースプレートに GPS アンテナを取り付ける。



アドバイス

車室内に GPS アンテナを取り付けた場合、取付位置やボディ形状によっては車室外に取り付けた場合に比べ、GPS の測位率が低下し、現在地位置ズレを生じやすくなります。この場合、GPS アンテナは車室外に取り付けてください。

- 4 GPS アンテナコードをクランプで固定する。

- 5 GPS アンテナコードをフロントガラスとダッシュボードの隙間に押し込み配線する。

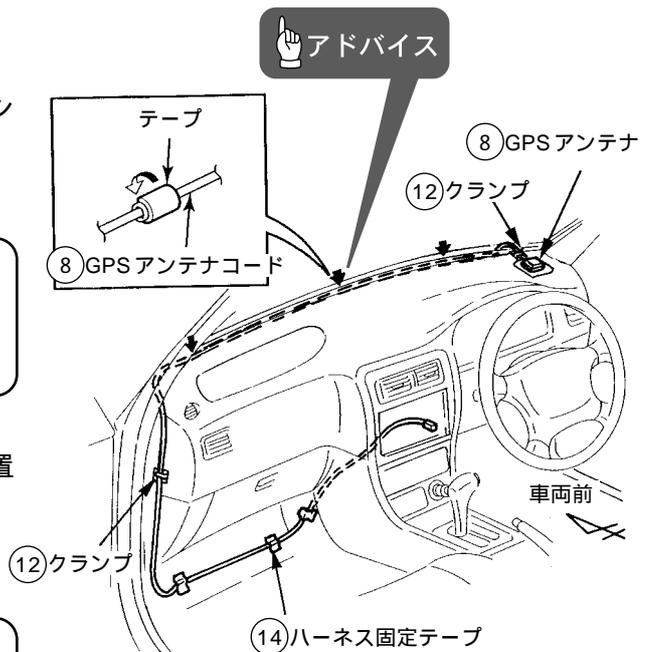
アドバイス

GPS アンテナコードがダッシュボードからはみ出す場合は、テープを巻き付けてフロントガラスとダッシュボードの隙間に収めてください。

- 6 GPS アンテナコードをメインユニット取付位置まで配線する。

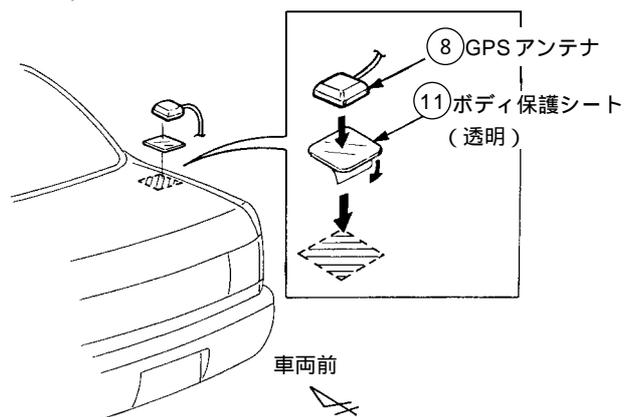
アドバイス

ハーネス固定テープは、はさみ等で切って使用してください。以降も同様に行ってください。

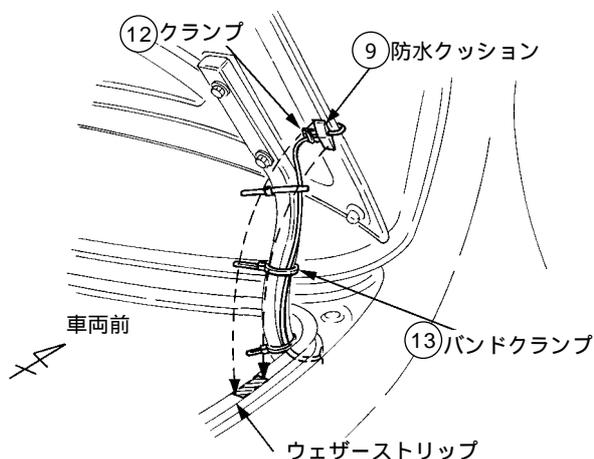


- 車室外に取り付ける場合（例） -

- 1 GPSアンテナがしっかりと固定できる場所を選び、取付位置を決める。
- 2 ボディ保護用シートのハクリ紙をはがし、車に貼り付ける。
- 3 ボディ保護用シートの上にGPSアンテナを取り付ける。



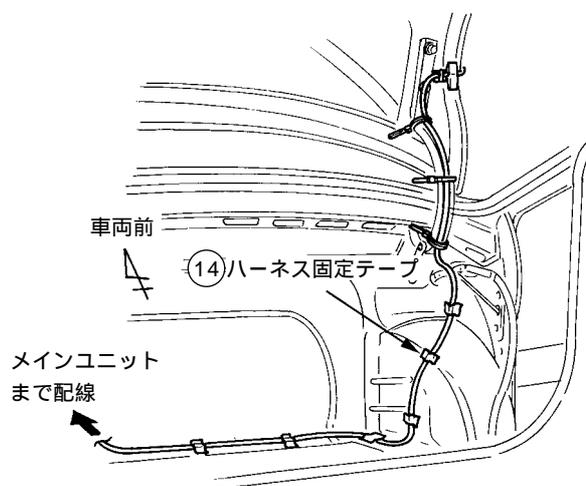
- 4 GPSアンテナ用コードをトランク内側に引き込みクランプで固定する。
- 5 トランクドアを閉めたとき、GPSアンテナコードがウェザーストリップと水平にあたる場所に防水クッションを貼り付ける。
- 6 GPSアンテナコードをバンドクランプで固定しながら配線する。



- 7 GPSアンテナコードをハーネス固定テープで固定しながらメインユニット取付位置まで配線する。

アドバイス

ハーネス固定テープは、はさみ等で切って使用してください。以降も同様に行ってください。

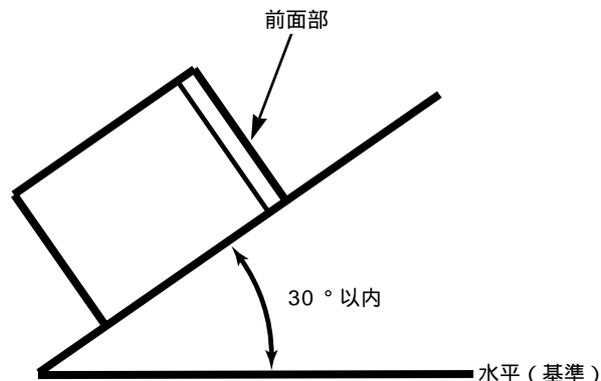


メインユニットの取り付け

- メインユニットの取付角度 -

👉 アドバイス

本機の性能を十分に発揮するために、水平に対して、30度以内の角度で取り付けてください。音飛び・イジェクト不良等の原因となります。

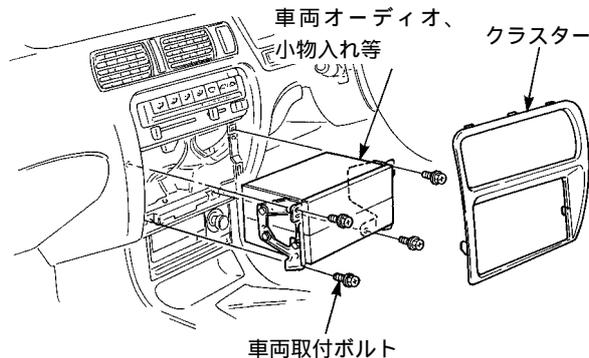


- トヨタ車に取り付ける場合(例) -

👉 アドバイス

メインユニットを取り付ける前に各コードを接続してください。

- 1 車のオーディオ、小物入れなどを取りはずす。
- 2 オーディオ、小物入れを取り付けているブラケットを取りはずす。



- 3 メインユニットにブラケットを取り付ける。

👉 アドバイス

取付ねじは、必ず付属のねじ(M5×8)を使用してください。指定の物以外を使用すると機器の内部が損傷するおそれがあります。

- 4 メインユニットを車に取り付ける。

👉 アドバイス

車に取り付ける際、メインユニットのディスプレイ(表示部)やボタンを強く押して組み付けないでください。

